

器官制御医学講座／泌尿器科学領域 附属病院／泌尿器科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	横山 修	平成14年5月－
准教授	伊藤 秀明	平成18年7月－（平成27年4月－現職）
講師	青木 芳隆	平成5年5月－平成8年6月、平成16年4月－（平成27年3月－現職）
		平成9年5月－平成11年3月、平成13年7月－平成15年3月、平成17年4月－平成19年3月、平成21年4月－平成23年9月、平成25年4月－（平成27年5月－現職）
講師	松田 陽介	平成15年5月－平成17年3月、平成19年4月－平成23年3月、平成25年9月－
助教	山内 寛喜	平成20年4月－平成21年3月、平成23年4月－平成24年12月、平成25年6月－平成28年4月（平成26年4月－平成28年4月：助教）
助教	黒川 哲之	平成18年4月－平成21年3月、平成23年4月－平成25年1月、平成25年4月－（平成26年10月－現職）
助教	多賀 峰克	平成22年4月－平成23年3月、平成25年4月－平成28年3月（平成27年3月－平成28年3月：助教）
助教	横井 聡始	平成16年4月－平成22年3月、平成24年4月－平成25年12月、平成25年2月－平成29年3月（平成27年5月－平成29年3月：助教）

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) 福井県では平成15年度より主な市町で前立腺検診が開始され、前立腺癌症例が急増している。前立腺検診受診者は年々増加しており、全県的に検診が普及するよう活動を行っている。このような状況のもと、当講座では遺伝子レベルの基礎的研究のみならず、再燃癌に対する抗癌化学療法、癌局在診断の向上を目指した研究を行い、その有用性について多くの報告を行ってきた。

1-2) 尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖である硫酸化シアリルルイスX (sLeX) が膀胱尿路上皮癌細胞に発現し、血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの結合能を有することを明らかにした。これは硫酸化sLeXを発現する循環細胞が血管内皮と接着し癌の転移に関与する可能性が示唆された。一方、膀胱間質に硫酸化sLeXを発現するHEV様血管が誘導されていることも明らかにした。一部は腫瘍細胞の近傍に位置しリンパ球の浸潤を伴っていた。リンパ球の中には細胞障害性Tリンパ球も含まれており、腫瘍免疫に関与している可能性があり、研究を進める。またシアリルルイス抗原は膀胱癌以外にも腎癌や上部尿路癌、前立腺癌など他の泌尿器科癌でも発現することが報告されている。前立腺癌や腎癌においても同様に糖鎖マーカーの有用性を検証して行く予定である。

1-3) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。糖鎖の足場蛋白の一つとされるMUC1蛋白の発現も糖鎖発現に関与していると考えられ、その足場蛋白の発現と糖鎖発現ひいては腫瘍細胞の悪性度/転移能に関して検討を行う。またMUC1をターゲットにしたMUC1由来ワクチンなどによる治療も行われており免疫治療における役割に関しても検討を行う予定である。

2) 腎臓部門

家族内発生の先天性水腎症の原因遺伝子として分化制御因子Id2を中心に、その遺伝子変異解析を行っている。また、腎動態シンチトレーサーであるMAG3による腎機能評価の結果が併用薬剤の影響を受ける可能性について、近位尿管管に発現する有機アニオントランスポーター（OAT1）発現との関連について検討を行っている。

3) 下部尿路機能部門

3-1) 抗コリン薬は膀胱知覚C線維を抑制し夜間多尿を改善することを報告してきた。他の抗コリン薬やC線維を抑制する他剤ではどうか、また交感神経が関与するかについて研究を行なっている。まず腹腔内に15mlの生理食塩水を注入した利尿ラットにαブロッカーを投与すると用量依存性に尿産生を抑制が認められ、C線維を介していることが解明された。また、食塩感受性高血圧ラットを高食塩食で飼育すると高血圧と非活動期に多尿が認められた。心毒性を持つ抗癌剤を用いて心不全モデルを作成すると尿産生リズムが崩壊していた。臨床的には長時間作用型と短時間作用型抗コリン薬の夜間頻尿に及ぼす影響を治験データを基にサブ解析すると後者に抗利尿効果がみられた。また、高齢者に多い脳血管障害や前立腺肥大症、さらには腎臓疾患に伴う過活動膀胱に焦点を当てて神経生理学的、分子薬理学的研究を行った。下部尿路機能障害については製薬企業との共同研究が盛んで、薬剤作用機序の解明、新たな疾患モデルの開発など積極的な取り組みを行っている。

3-2) 福井県の住民健康診査を行っている施設や人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡し て疫学的調査も行っている。メタボリック症候群や生活習慣病と下部尿路症状、特に夜間頻尿とは密接な関連があることが疫学調査の結果から解明された。

4) 性機能部門

4-1) 性機能部門は、臨床的には勃起障害(ED)外来・男性更年期障害外来にて多数の患者の診療を行っている。

4-2) これまで心理ストレスはラットにおいて性行動障害を惹起することを報告してきた。その仲介を果たすのが副腎性アンドロゲンであった。これを発展させ、心理ストレスによって増加する視床下部室傍核由来の副腎皮質刺激ホルモン放出因子(CRF)に注目した。最近になりCRFの受容体が膀胱にも存在することが明らかとなっている。これまでストレス負荷ラット膀胱にもCRFが増加していることを報告したが、その生理的意義については不明であった。しかし高血圧のような生活習慣の乱れが重なる増悪因子となつて下部尿路機能障害を惹起しているという仮説を立て、自然発生高血圧ラットを用いてCRFの膀胱での作用について検討している。これまでにCRFは膀胱収縮自体には影響しないが、CRFR1を介してM3受容体に何らかのシグナルを出してムスカリン収縮を増強させることが解明されたが、様々な炎症性サイトカインも関与している可能性があり、今後の検討課題としたい。

5) 排尿ケア部門

5-1) 福井大学附属病院の関連病院を中心に、泌尿器科が常動ではない施設でも、不必要な尿道カテーテル抜去を系統的行えるように、看護師主導で行えるクリティカルパスを作成し、カテーテル留置率を下げるか否かについて、prospectiveな研究を行なっている。その際、カテーテル抜去後の排尿効率をモニターする目的で、残尿量測定を24時間3日間にわたり施行して排尿自立指導に適した患者像を検討する予定である。

5-2) 長期尿道カテーテル留置患者における様々なトラブル対策を行っている。具体的には、カテーテル閉塞の危険因子解析、閉塞に対するクランベリージュースの予防効果、カテーテルの形状や材質による閉塞度合の差、などについて、関連病院の要介護度の高い患者を対象に調査を行っている。

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、泌尿器科学
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、心理ストレス、性機能障害、下部尿路機能障害
- 5) 尿道カテーテル、長期留置、感染、閉塞

特色等

- 1) 糖鎖マーカーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。
- 2) 先天性水腎症を高率に、しかもヒトのパターンに近い形で発症するld2遺伝子欠損マウスの解析結果から、ヒト先天性水腎症とld2遺伝子の関連が示唆されている。そこで、他施設との共同研究として、家族内発症例のゲノムDNAを集め、ld2遺伝子異常について7家系28名のエクソン領域の解析、および連鎖解析が終了した。今後、全ゲノムシーケンス解析を計画している。
- 3) 日本排尿機能学会は過活動膀胱診療ガイドラインを作成したが、その副委員長として改訂に貢献した。また、男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドライン改訂版の作成委員としても活躍している。
- 4) 当部門の特色として勃起障害などの性機能障害を下部尿路機能、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。また、本邦ではまだ十分な調査が行われていない女性性機能に関する疫学調査も行っており、下部尿路症状との関連性も見出している。
- 5) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科疾患を有する患者も急増している。尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害などQOL疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター（うち原著のみ）
		2015年分	2015年分
和文原著論文	ファーストオーサー	2	—
	コレスポンディング・オーサー	4	7.879 (7.879)
英文論文	コレスポンディング・オーサー	3	5.111 (5.111)
	その他	4	6.55 (6.55)
	合計	8	14.429 (14.429)

(A) 著書・論文等**(1) 英文：著書等****a. 著書****b. 著書（分担執筆）****c. 編集・編集・監修****(2) 英文：論文等****a. 原著論文（審査有）**

- 1541001** T. Kurokawa, X. Zha, H. Ito, Y. Aoki, H. Akino, M. Kobayashi, O. Yokoyama: Underlying mechanisms of urine storage dysfunction in rats with salt-loading hypertension, *Life Sci*, 141, 8–12, 201511, DOI: 10.1016/j.lfs.2015.09.010, #2. 702
- 1541002** M. Taga, H. Hoshino, S. Low, Y. Imamura, H. Ito, O. Yokoyama, M. Kobayashi: A potential role for 6-sulfo sialyl Lewis X in metastasis of bladder urothelial carcinoma, *Urol Oncol*, 33(11), 4960–496000000000, 201511, DOI: 10.1016/j.urolonc.2015.05.026, #2. 768
- 1541003** S. Takahashi, M. Takei, O. Nishizawa, O. Yamaguchi, K. Kato, M. Gotoh, Y. Yoshimura, M. Takeyama, H. Ozawa, M. Shimada, T. Yamanishi, M. Yoshida, H. Tomoe, O. Yokoyama, M. Koyama: Clinical guideline for female lower urinary tract symptoms, *LUTS*, 8(1), 5–29, 201601, DOI: 10.1111/luts.12111, #0. 304
- 1541004** T. Watanabe, S. Yamamoto, M. Gotoh, T. Saitoh, O. Yokoyama, T. Murata, M. Takeda: Cost-effectiveness analysis of long-term intermittent self-catheterization with hydrophilic-coated and uncoated catheters in patients with spinal cord injury in Japan, *LUTS*, 1–9, 201511, DOI: 10.1111/luts.12122, #0. 304
- 1541005** O. Yamaguchi, H. Kakizaki, Y. Homma, Y. Igawa, M. Takeda, O. Nishizawa, M. Gotoh, M. Yoshida, O. Yokoyama, N. Seki, A. Okitsu, T. Hamada, A. Kobayashi, K. Kuroishi: Safety and efficacy of mirabegron as 'add-on' therapy in patients with overactive bladder treated with solifenacin: a post-marketing, open-label study in Japan (MILAI study), *BJU Int*, 116(4), 612–622, 201510, DOI: 10.1111/bju.13068, #3. 533
- 1541006** O. Yokoyama, A. Yamaguchi, M. Yoshida, T. Yamanishi, O. Ishizuka, N. Seki, S. Takahashi, O. Yamaguchi, N. Higo, H. Minami, Y. Masegi: Once-daily oxybutynin patch improves nocturia and sleep quality in Japanese patients with overactive bladder: Post-hoc analysis of a phaseIII randomized clinical trial, *Int J Urol*, 22(7), 684–688, 201507, DOI: 10.1111/iju.12755, #2. 409
- 1541007** O. Nishizawa, M. Yoshida, M. Takeda, O. Yokoyama, Y. Morisaki, M. Murakami, L. Viktrup: Tadalafil 5mg once daily for the treatment of Asian men with lower urinary tract symptoms secondary to benign prostatic hyperplasia: analyses of data pooled from three randomized, double-blind, placebo-controlled studies, *Int J Urol*, 22(4), 378–384, 201504, DOI: 10.1111/iju.12699, #2. 409

b. 原著論文（審査無）**c. 原著論文（総説）**

- 1541008** O. Yokoyama, Y. Igawa, M. Takeda, T. Yamaguchi, M. Murakami, L. Viktrup: Tadalafil for lower urinary tract symptoms secondary to benign prostatic hyperplasia: a review of clinical data in Asian men and an update on the mechanism of action, *Ther Adv Urol*, 7(5), 249–264, 201510, DOI: 10.1177/1756287215589238

d. その他研究等実績（報告書を含む）**e. 国際会議論文****(3) 和文：著書等****a. 著書****b. 著書（分担執筆）**

- 1541009** 青木 芳隆: 夜間頻尿に対して抗コリン薬は有効か? : 後藤 百万, 小川 修, 寛 善行, 出口 隆, 宮澤 克人: EBM泌尿器疾患の治療, 株式会社中外医学社, 385–388, 201504, 9784498064249
- 1541010** 松田 陽介, 横山 修: 泌尿器疾患 41 尿失禁: 泉 孝英: 今日の診療のために ガイドライン外来診療2016, 16, 日経メディカル開発, 327–333, 20160315, 9784931400764
- 1541011** 伊藤 秀明, 横山 修: メタボリック症候群は下部尿路症状の病因となるか? : 後藤 百万, 小川 修, 寛 善行, 出口 隆, 宮澤 克人: EBM泌尿器疾患の治療, 株式会社中外医学社, 282–287, 201504, 9784498064249

c. 編集・編集・監修

1541012 横山 修: 過活動膀胱診療ガイドライン[第2版], リッチヒルメディカル株式会社, 201504, DOI: 9784903849300

(4) 和文: 論文等

a. 原著論文 (審査有)

1541013 谷尾 信, 青木 芳隆, 横井 聡始, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 性腺外胚細胞腫の治療8年後に発生した精巣腫瘍の1例, 泌尿器科紀要, 61(4), 173-176, 201504

1541014 吉田 正貴, 山口 秋人, 後藤 百万, 武田 正之, 横山 修, 山西 友典, 柿崎 秀宏, 石塚 修, 関 成人, 高橋 悟, 山口 脩, 柵木 悠, 高野 裕慎, 南 秀尚, 肥後 成人: 高齢者の過活動膀胱に対するオキシブチニン塩酸塩経皮吸収型製剤の有効性および安全性—2つのランダム化比較試験の併合データを用いたサブグループ解析—, 泌尿器外科, 28(7), 1229-1237, 201507

b. 原著論文 (審査無)

c. 総説

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

1541015 横山 修, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 松田 陽介: BPH/LUTSに対するPDE5阻害薬併用での臨床的有用性, 排尿障害ブラクティス, 23(1), 57-64, 20150610

1541016 横山 修, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 松田 陽介: 前立腺肥大症に伴う下部尿路症状に対するPDE5阻害薬との併用療法, Prostate Journal, 2(1), 115-119, 20150401

1541017 松田 陽介: 2014年度国際禁制学会からの報告 ICS2014, 排尿障害ブラクティス, 23(1), 72-75, 20150610

1541018 伊藤 秀明: 泌尿器診療Q&A, LUTS PIAZZA, 2(2), 12-12, 20150904

1541019 横山 修: ICS2015モントリオール印象記, Urology Today, 23(1), 62-64, 20160325

1541020 横山 修, 大戸 茂弘, 笠原 正登, 小曾根 基裕, 根来 宏光: 座談会 夜間頻尿と概日リズム, 泌尿器外科, 29(1), 43-50, 20160115

1541021 横山 修: OABの病態—最近の知見—, 排尿障害ブラクティス, 23(2), 30-37, 20160105

1541022 横山 修: Male LUTS の病態, Urology Today, 22(4), 68-69, 20151225

1541023 横山 修: 糖尿病とQOL—夜間頻尿との関係—, Diabetes Cube, 201510

1541024 関 雅也: 日本排尿機能学会第21回河邊賞 Relationship between lifestyle diseases and the frequency of medical therapies for lower urinary tract symptoms: Analysis of 60,000 aging males and females (ICS 2014), 排尿障害ブラクティス, 23(1), 80-81, 20150610

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

1541025 O.Yokoyama: Beta-3 agonist, Taiwanese Continence Society, Taipei(Taiwan), 20150920

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

1541026 Y. Aoki, M. Tsutsumiuchi, S. Yokoi, Y. Matsuta, C. Matsumoto, Y. Kusaka, O. Yokoyama: Straining to void is associated with female dyspareunia, ICS2015, Montreal(Canada), 20151007

1541027 Y. Matsuta, S. Yokoi, N. Hashimoto, Y. Aoki, H. Akino, O. Yokoyama: Low-frequency transcutaneous electrical stimulation of foot ameliorates intractable OAB symptoms, ICS2015, Montreal(Canada), 20151008

1541028 O. Yokoyama: Treatment options in OAB cases refractory to pharmacotherapy, The 32nd KOREA-JAPAN Urological Congress, Seoul(Korea), 20150919

d. 一般講演 (ポスター)

1541029 H. Ito, Y. Matsuta, Y. Aoki, H. Yamauchi, M. Taga, O. Yokoyama: Lower urinary tract symptoms in patients after treatment for localized prostate cancer. A comparative study: Robot assisted laparoscopic radical prostatectomy vs brachytherapy, WCE2015, London(UK), 20151004

1541030 T. Kurokawa, X. Zha, H. Yamauchi, Y. Aoki, H. Ito, O. Yokoyama: Urine storage dysfunction in rats with salt-loading hypertension depends on bladder blood flow, ICS2015, Montreal(Canada), 20151007

1541031 S. Yokoi, Y. Matsuta, K. Nagase, Y. Aoki, H. Akino, O. Yokoyama: Ketanserin suppressed detrusor overactivity in spontaneously hypertensive rats, suggesting a pathogenic role of 5-HT2A receptor, ICS2015, Montreal(Canada), 20151008

1541032 H. Akino, K. Nagase, H. Ito, R. Yokokawa, Y. Matsuta, Y. Aoki, O. Yokoyama: The inhibition of non-voiding contractions due to bladder outlet obstruction by alpha1-adrenoceptor blocker: what is the mechanism underlying this effect?, ICS2015, Montreal(Canada), 20151008

1541033 Y. Matsuta, S. Yokoi, Y. Aoki, H. Akino, O. Yokoyama: Transcutaneous electrical foot stimulation can be a non-invasive treatment alternative for the refractory OAB, The 10th Pan-Pacific Continence Society Meeting, 札幌市, 20150908

1541034 H. Akino, K. Nagase, X. Zha, Y. Aoki, H. Ito, N. Oyama, O. Yokoyama: Detrusor overactivity induced by cerebral infarction may be associated with enhanced activity of Rho-kinase in the bladder, AUA Annual Meeting 2015, New Orleans(USA), 20150515

1541035 Y. Matsuta, S. Yokoi, B. Shen, J. Ropporo, W. de Groat, C. Tai, O. Yokoyama: Hippocampal microstimulation or microinjection of NMDA ionotropic glutamate receptor antagonist inhibits micturition reflex in urethane-anesthetized rats, AUA Annual Meeting 2015, New Orleans(USA), 20150515

1541036 N. Emori, Y. Igarashi, H. Akino, M. Fujii, T. Hasegawa: Influence of our new nursing system, the Partnership Nursing System (PNS), on the medical safety, 4th World Congress of Clinical Safety, Vienna(Austria), 20150928

1541037 S. Kasamatsu, H. Akino, K. Kitahama, M. Fujii, Y. Kuwabara, N. Emori: Alarm-sound intelligibility, a factor associated with a lethal medical incident? from an experience in our hospital?, 4th World Congress of Clinical Safety, Vienna(Austria), 20150929

1541038 R. Yokokawa, H. Akino, K. Nagase, O. Yokoyama: Alterations of bladder functions in a rat model of cerebral infarction: effect of the B3-agonists, mirabegron and BRL37344, ICS2015, Montreal(Canada), 20151007

1541039 H. Hoshino, M. Taga, S. Low, M. Kobayashi: A potential role for 6-sulfo sialyl Lewis X in metastasis of bladder urothelial carcinoma, 2015 Annual Meeting of the society for Glycobiology, San Francisco(USA), 20151203

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1541040** 青木 芳隆：5 α 還元酵素阻害薬，第103回日本泌尿器科学会総会，教育シンポジウム03 専門医によるBPH薬物治療：薬物併用療法の適応と選択，金沢市，20150419
- 1541041** 松田 陽介，横山 修：難治性過活動膀胱に対する末梢体性神経電気刺激に関する考察，第103回日本泌尿器科学会総会，フロンティアシンポジウム02 重症及び難治性過活動膀胱の治療戦略，金沢市，20150419
- 1541042** 横山 修：生活習慣病と夜間頻尿一疫学と治療のUPDATEー，第69回国立病院総合医学会，ランチョンセミナー14，札幌市，20151003
- 1541043** 横山 修：排泄ケアの実践ー日本排尿機能学会として果たす役割ー，第22回日本排尿機能学会，ワークショップ2 高齢社会における排泄ケア：適切な排泄ケア実践のための挙国一致体制を目指して，札幌市，20150911
- 1541044** 横山 修：更なる患者満足度の向上を目指したアプローチ，第22回日本排尿機能学会，イブニングセミナー3 BPH/LUTS 薬物療法のパラダイムシフトータダラフィルの処方経験から得られた知見ー，札幌市，20150910
- 1541045** 横山 修：Female LUTS 最近の話題，第17回日本女性骨盤底医学会，ランチョンセミナー，東京都新宿区，20150802
- 1541046** 横山 修：生活習慣病を考慮した排尿障害治療のupdate，第28回日本老年泌尿器科学会，ランチョンセミナー7，浜松市，20150509
- 1541047** 横山 修：BPH/LUTSの新たな治療戦略ーNO-cGMP系の観点からー，第103回日本泌尿器科学会総会，サテライトセミナー6 Male Pelvic Healthにおける課題と展望，金沢市，20150418
- 1541048** 横山 修：いかに治す夜間頻尿ー薬剤選択のヒケツー，第103回日本泌尿器科学会総会，ランチョンセミナー21，金沢市，20150419
- 1541049** 横山 修：より良いLUTS治療を目指してー生活習慣病の背景から探るー，第103回日本泌尿器科学会総会，ランチョンセミナー28，金沢市，20150420

c. 一般講演（口演）

- 1541050** 松田 陽介，横井 聡始，青木 芳隆，秋野 裕信，横山 修：女性難治性過活動膀胱患者に対する経皮的末梢神経電気刺激療法の性機能に対する影響，第26回日本性機能学会，福岡市，20150920
- 1541051** 青木 芳隆，松田 陽介，伊藤 秀明，横山 修：陰内射精障害に対してマスターベーション補助具による射精リハビリテーションを施行した1例，第26回日本性機能学会，福岡市，20150920
- 1541052** 青木 芳隆，岡田 昌裕，横井 聡始，松田 陽介，伊藤 秀明，松本 智恵子，日下 幸則，横山 修：夜間頻尿と不眠、どちらが先か？ー住民健診受診者を対象とした縦断的疫学調査からー，第22回日本排尿機能学会，札幌市，20150910
- 1541053** 松田 陽介，横井 聡始，青木 芳隆，Roppo James R, Tai Changfeng, 横山 修：海馬電気刺激またはNMDAグルタミン酸受容体拮抗薬海馬内投与は麻酔下ラットの膀胱容性収縮を抑制する，第22回日本排尿機能学会，札幌市，20150909
- 1541054** 岡田 昌裕，青木 芳隆，日下 幸則，横山 修：人間ドック受診者男性における下部尿路症状における耐糖能異常の背景因子と、翌年の糖尿病罹患率の検討，第22回日本排尿機能学会，札幌市，20150909
- 1541055** 長瀬 桂子，伊藤 秀明，青木 芳隆，松田 陽介，山内 寛喜，査 新民，秋野 裕信，横山 修：脳梗塞ラット排尿筋過活動に対するfesoterodineの効果について，第22回日本排尿機能学会，札幌市，20150909
- 1541056** 青木 芳隆，三谷 陽香，水野 孝映，内方 ゆかり，木村 知行，横山 修：常動泌尿器科不在施設で不要な長期留置カテーテル抜去安全に行うにはー尿道カテーテル抜去パスの作成とその成功関連因子解析ー，第28回日本老年泌尿器科学会，浜松市，20150509
- 1541057** 田巻 康弘，山口 昌子，北廣 和江，桑原 早智子，田中 悦子，横山 剛志，青木 芳隆：排尿ケアにおける多職種共同研究の動向～3学会における研究発表の分析～，第28回日本老年泌尿器科学会，学会賞講演3，浜松市，20150509
- 1541058** 秋野 裕信，長瀬 桂子，横川 竜生，査 新民，青木 芳隆，伊藤 秀明，大山 伸幸，横山 修：下部尿路閉塞によるラット膀胱からの神経成長因子放出量の変化と $\alpha 1$ 遮断薬の影響，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150419
- 1541059** 谷尾 信，大山 伸幸，青木 芳隆，稲村 聡，横山 修，木下 聡子，朝日 智子，塩浦 宏樹，木村 浩彦，佐藤 義高：当院における高リスク前立腺癌に対する密封小線源治療の有用性に関する検討，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150419
- 1541060** 大山 伸幸，青木 芳隆，稲村 聡，岡田 昌裕，横山 修，木下 聡子，朝日 智子，塩浦 宏樹，佐藤 義高：当院における前立腺癌に対する密封小線源治療後3年以上経過した症例の初期治療成績，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150419
- 1541061** 伊藤 秀明，関 雅也，山内 寛喜，秋野 裕信，横山 修：男性高血圧患者の下部尿路症状有病率はアンデキオテンシンII受容体阻害薬を内服する患者で低い，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150421
- 1541062** 関 雅也，査 新民，三輪 吉司，秋野 裕信，横山 修：Contricotropin-releasing factorの下部尿路機能に及ぼす影響について，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150421
- 1541063** 吉田 正貴，山口 秋人，後藤 百万，武田 正之，横山 修，山西 友典，柿崎 秀宏，石塚 修，関 成人，高橋 悟，山口 脩，柵木 悠，高野 裕慎，南 秀尚，肥後 成人：高齢者の過活動膀胱（OAB）に対するオキシブチニン塩酸塩経皮吸収型製剤（オキシブチニンテープ）の有効性および安全性ー2つのランダム化比較試験の併合データを用いたサブグループ解析ー，第22回日本排尿機能学会，札幌市，20150910

d. 一般講演（ポスター）

- 1541064** 横井 聡始，松田 陽介，長瀬 桂子，青木 芳隆，横山 修：自然発症高血圧ラットにおける排尿反射への5-HT2A受容体拮抗薬の作用についての検討，第22回日本排尿機能学会，札幌市，20150910
- 1541065** 堤内 真実，青木 芳隆，佐々木 喜久子，高原 典子，松田 陽介，伊藤 秀明，秋野 裕信，横山 修：分娩様式は尿失禁と関連しているか，第17回日本女性骨盤底医学会，東京都新宿区，20150802
- 1541066** 青木 芳隆，岡田 昌裕，横井 聡始，松田 陽介，伊藤 秀明，大山 伸幸，秋野 裕信，横山 修：労働者を対象とした調査からわかった下部尿路症状と勃起障害の関連性，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150419
- 1541067** 岡田 昌裕，青木 芳隆，日下 幸則，横山 修：人間ドック受診者男性における下部尿路症状と翌年の糖尿病罹患率の検討，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150420
- 1541068** 品川 友親，伊藤 秀明，稲村 聡，黒川 哲之，青木 芳隆，大山 伸幸，秋野 裕信，横山 修：無治療経過観察を行った腎腫瘍8例の検討，第103回日本泌尿器科学会総会，金沢市，20150420
- 1541069** 横川 竜生，秋野 裕信，長瀬 桂子，横山 修：脳梗塞に伴う排尿筋過活動に対する膀胱知覚C線維の関与 - 膀胱上皮メディエータ放出および膀胱自律収縮からの考察 - ，第103回日本泌尿器科学会総会，総会賞応募ポスター+口演，金沢市，20150418

業績一覧

- 1541070** 土山 克樹, 伊藤 秀明, 谷尾 信, 関 雅也, 秋野 裕信, 横山 修: 当科における外傷性腎損傷の臨床的検討, 第103回日本泌尿器科学会総会, 金沢市, 20150420
- 1541071** 多賀 峰克, 星野 瞳, 品川 友親, 堤内 真実, 小林 基弘, 伊藤 秀明, 横山 修: 膀胱癌細胞に発現する硫酸化シアリルルイスXは癌の転移に関与する, 日本泌尿器腫瘍学会第1回学術大会, 京都市, 20151101
- 1541072** 稲村 聡, 伊藤 秀明, 小松 和人, 平田 昭夫, 小林 忠博, 三原 信也, 澤田 樹佳, 岩堀 嘉郎, 横山 修: 福井県における去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの使用経験, 第103回日本泌尿器科学会総会, 金沢市, 20150419
- 1541073** 査 新民, 長瀬 桂子, 横山 修: PDE5阻害薬Tadalafilの下部尿路機能に対する影響について～メタボリック症候群病態モデルを用いた検討～, 第22回日本排尿機能学会, 札幌市, 20150910
- 1541074** 佐藤 一範, 棚瀬 和弥, 横山 修: 被災地医療支援を経験して, 第103回日本泌尿器科学会総会, 金沢市, 20150418
- 1541075** 堤内 真実, 前田 雄司, 押野谷 幸之輔, 長野 賢一, 横山 修: 当院におけるタダラフィルの初期使用経験, 第103回日本泌尿器科学会総会, 金沢市, 20150419
- 1541076** 棚瀬 和弥, 横山 修, 楠川 直也, 岩堀 嘉郎, 金田 大生, 堤内 真実, 前田 雄司, 押野谷 幸之輔: 前立腺肥大症に対するタダラフィル5mgの有効性と安全性の検討 (GLSSによる評価), 第103回日本泌尿器科学会総会, 金沢市, 20150419

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1541077** 黒川 哲之, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 排尿障害, 第65回日本泌尿器科学会中部総会, シンポジウム9 外来で遭遇する小児泌尿器疾患—最低限これだけは知っておきたい最新情報—, 岐阜市, 20151025
- 1541078** 青木 芳隆: 夜間頻尿の病態と治療、そして将来への展望, 第65回日本泌尿器科学会中部総会, イブニングセミナー6, 岐阜市, 20151024
- 1541079** 横山 修: 生活習慣病を考慮した排尿障害治療のupdate, 第65回日本泌尿器科学会中部総会, イブニングセミナー2, 岐阜市, 20151023
- 1541080** 横山 修: 夜間頻尿の治療を考える～多尿と睡眠障害に注目して～, 第45回日本腎臓学会東部学術大会, ランチョンセミナー4, 東京都港区, 20151002

c. 一般講演 (口演)

- 1541081** 品川 友親, 多賀 峰克, 村元 暁文, 兜 貴史, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 前立腺生検時における予防的抗生剤の検討, 第451回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20160305
- 1541082** 兜 貴史, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 前立腺摘除術後にOgilvie症候群を発症した1例, 第450回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20151206
- 1541083** 関 雅也, 堤内 真実, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修, 知野 陽子, 吉田 好雄, 棚瀬 和弥, 糸賀 明子, 高原 典子: 当科における骨盤臓器脱手術の合併症についての検討, 第450回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20151206
- 1541084** 村元 暁文, 品川 友親, 多賀 峰克, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 術後9年で再発が認められた尿管管癌の1例, 第65回日本泌尿器科学会中部総会, 岐阜市, 20151023
- 1541085** 兜 貴史, 黒川 哲之, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 頻尿症状で発見された成人男性の尿管癌の1例, 第448回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20150620
- 1541086** 松田 陽介, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 山内 寛喜, 黒川 哲之, 多賀 峰克, 横山 修, 大山 伸幸: ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術と前立腺密封小線源療法後のI-PSSの変化についての比較検討, 第448回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20150620
- 1541087** 山内 寛喜, 大江 秀樹, 岡田 昌裕, 多賀 峰克, 黒川 哲之, 伊藤 秀明, 横山 修: 尿管管疾患の当院における臨床経験, 第65回日本泌尿器科学会中部総会, 岐阜市, 20151023
- 1541088** 村元 暁文, 山内 寛喜, 岡田 昌裕, 大江 秀樹, 横山 修: 膀胱原発小細胞癌の1例, 第449回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20150905

d. 一般講演 (ポスター)

- 1541089** 大江 秀樹, 横井 聡始, 青木 芳隆, 松田 陽介, 棚瀬 和弥, 伊藤 秀明, 横山 修, 木村 浩彦: 当院で経験した会陰部外相後の流入過剰型持続勃起症3例についての検討, 第65回日本泌尿器科学会中部総会, 岐阜市, 20151024

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1541090** 青木 芳隆: 看護師主導の尿道カテーテル抜去バス長期留置を減らすための取り組み, 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 第27回研究大会 in 沖縄, ランチョンセミナーVI, 宜野湾市 (沖縄県), 20160305
- 1541091** 青木 芳隆: 改訂された過活動膀胱診療ガイドラインとOAB/LUTSに関するトピックス, 第28回北陸排尿障害研究会, コーヒーブレイクセミナー, 金沢市, 20150705

c. 一般講演 (口演)

- 1541092** 横井 聡始, 松田 陽介, 長瀬 桂子, 青木 芳隆, 秋野 裕信, 横山 修: 自然発症高血圧ラットにおける排尿反射への5-HT2A受容体拮抗薬の作用についての検討, 第8回排尿障害モデル動物研究会, 静岡市, 20151204
- 1541093** 岡田 昌裕, 青木 芳隆, 横山 修, 日下 幸則: 耐糖能異常と男性下部尿路症状～人間ドック受診者における検討～夜間頻尿患者における排尿日誌の検討, 第28回北陸排尿障害研究会, 金沢市, 20150705
- 1541094** 多賀 峰克, 品川 友親, 星野 瞳, 小林 基弘, 伊藤 秀明, 横山 修: 膀胱癌に発現する硫酸化シアリルルイスXに関する検討, 第20回北陸泌尿器科 Basic Research Meeting, 金沢市, 20160305

業績一覧

1541095

稲村 聡, 伊藤 秀明, 小松 和人, 平田 昭夫, 小林 忠博, 三原 信也, 澤田 樹佳, 岩堀 嘉郎, 横山 修: 福井県における去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの私用経験, 第19回北陸腎泌尿器癌研究会, 金沢市, 20150905

1541096

多賀 峰克, 伊藤 秀明, 小松 和人, 土山 克樹, 山本 秀和, 三原 信也, 澤田 樹佳, 岩堀 嘉郎, 鈴木 裕志, 高原 典子, 金田 大生, 中村 直博, 横山 修: 福井県における去勢抵抗性前立腺癌に対するアピラテロンの使用経験, 北陸泌尿器科研究会 (第20回北陸前立腺癌研究会), 金沢市, 20150620

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者
----	------------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科 研 費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	neuromodulation: 神経可塑への作用は過活動膀胱の新治療となり得るか	松田 陽介	横山 修	2015	1430000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C) (一般)	脳梗塞に伴う過活動膀胱の発症予防を目指す非神経因性膀胱壁過緊張に関する研究	秋野 裕信	横山 修, 松田 陽介, 大江 秀樹	2015	1170000
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	慢性ストレスと肥満: なぜ下部尿路機能障害を起こすのか?	横山 修	横山 修, 伊藤 秀明, 黒川 哲之, 関 雅也	2015	2080000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究 (B)	食塩感受性高血圧モデル動物を用いた高血圧関連性夜間頻尿に関する研究	黒川 哲之		2015	2340000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究 (B)	海馬: 認知症に伴う排尿障害治療の新たなターゲット	横井 聡始		2015	1170000
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	メタボ時代の夜間頻尿対策: 膀胱C線維遮断は夜間多尿を改善す	岡田 昌裕	横山 修, 青木 芳隆, 横井 聡始, 関 雅也	2015	1560000

(B) 奨学寄附金

受入件数	16
受入金額	13300000

5. その他の研究関連活動

(A) 学 会 関 連 等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第40回福井泌尿器科フォーラム	20160121-20160121	福井商工会議所 (福井県福井市)
その他の研究集会	主催者	第39回福井泌尿器科フォーラム	20151126-20151126	ザ・グランデュアーズフクイ (福井県福井市)
その他の研究集会	主催者	第16回越水会セミナー	20151017-20151017	福井フェニックスホテル (福井県福井市)
その他の研究集会	主催者	第19回北陸腎泌尿器癌研究会	20150905-20150905	金沢都ホテル (石川県金沢市)
その他の研究集会	主催者	第38回福井泌尿器科フォーラム	20150716-20150716	福井フェニックスホテル (福井県福井市)

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本老年泌尿器科学会	理事 (理事)	横山 修
日本排尿機能学会	代議員 (代議員)	横山 修
日本泌尿器科学会	代議員 (代議員)	横山 修
日本排尿機能学会	理事長	横山 修
日本女性骨盤底医学会	理事 (理事)	横山 修
日本脊髄障害医学会	評議員	横山 修
日本老年泌尿器科学会	評議員 (評議員)	横山 修
日本Men's Health医学会	理事 (理事)	横山 修
日本アンドロロジー学会	評議員 (評議員)	横山 修
日本排尿機能学会	理事	横山 修
日本泌尿器内視鏡学会	代議員 (代議員)	伊藤 秀明
日本内視鏡外科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌治療学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌学会	一般会員	伊藤 秀明
日本泌尿器科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本排尿機能学会	代議員	青木 芳隆
日本小児泌尿器科学会	一般会員	青木 芳隆
国際禁制学会	一般会員	青木 芳隆
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	一般会員	青木 芳隆
日本排尿機能学会	代議員	松田 陽介

業績一覧

前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会（前立腺シード研究会）	一般会員	松田 陽介
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	松田 陽介
日本排尿機能学会	一般会員	松田 陽介

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会3月例会	横山 修
シンポジウム等	一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 第27回研究大会 in 沖縄 ランチョンセミナーVI	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会2月例会	横山 修
招待・特別講演等	第12回夜間頻尿を考える会	横山 修
招待・特別講演等	第40回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
一般講演（口演）	前立腺疾患市民公開講座	横山 修
招待・特別講演等	The Best of AUA in Japan 2015	横山 修
招待・特別講演等	第39回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会10月例会	横山 修
シンポジウム等	第80回日本泌尿器科学会東部総会 イブニングセミナー1	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会9月例会	横山 修
一般講演（口演）	第22回日本排尿機能学会 基礎4（末梢3）	横山 修
一般講演（口演）	第3回福井ADPKD研究会	横山 修
招待・特別講演等	第38回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
招待・特別講演等	第20回北陸前立腺癌研究会	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会6月例会	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会5月例会	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会4月例会	横山 修
一般講演（口演）	福井県泌尿器科医会6月例会	青木 芳隆
その他	第9回下部尿路機能先端教育セミナー ケーススタディ・グループ発表・講評	松田 陽介
一般講演（口演）	第40回福井泌尿器科フォーラム	伊藤 秀明
一般講演	福井県泌尿器科医会3月例会	伊藤 秀明
一般講演（口演）	第38回福井泌尿器科フォーラム	伊藤 秀明

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他

1541097	松田 陽介：“元気で医こう” L O H（いわゆる男性更年期症状）（日刊県民福井）， 20160124
1541098	松田 陽介：“元気で医こう” 過活動膀胱治療の試み（日刊県民福井）， 20150802
1541099	松田 陽介：“元気で医こう” 過活動膀胱の神経編重療法（日刊県民福井）， 20150621
1541100	伊藤 秀明：前立腺がん再発リスク尿漏れ軽減 福井大病院支援ロボット運用2年（福井新聞）， 20160123
1541101	横山 修：悩んでいませんか？排尿のトラブル～知っておこう！「前立腺肥大症」～（朝日新聞社広告局）， 20160323
1541102	横山 修：「またトイレで起きた」尿意で一晚ぐっすり眠れない。40歳以上の約7人に1人と言われる過活動膀胱について。（読売新聞×Medical Tribune、福井新聞）， 201602
1541103	横山 修：ラジオNIKKEI医学特別番組「明日の治療指針」（株式会社日経ラジオ社）， 生活習慣病と排尿障害， 20151214
1541104	横山 修：Female LUTS、最近の話題（東京泌尿器科医会ニュース）， 201508
1541105	横山 修：トイレの悩み、相談してみませんか？（産経新聞）， 過活動膀胱について， 20150426
1541106	堤内 真実：“元気で医こう” 骨盤臓器脱と治療方法（日刊県民福井）， 20150920